

カナダ国立研究院に滞在して

鹿島支所 第三宇宙通信研究室
近藤 哲朗

1. はじめに

1986年11月から1988年3月までカナダ国立研究院(National Research Council of Canada: 以降NRCと呼ぶ)ヘルツベルグ天体物理研究所(Herzberg Institute of Astrophysics: 以降HIAと呼ぶ)にて在外研究を行った。研究所での仕事ぶりおよび家族(妻一人、娘二人)を伴っての1年5ヶ月間のオタワ滞在中で経験したことや生活ぶりを紹介したい。

2. 仕事ぶり

NRCの本拠地はオタワにある。私はHIAの物理学者として、HIAのグループに所属し、研究官として勤務している。私のHIAでの仕事は、研究官としての勤務と、研究官としての勤務の両方がある。HIAの研究官としての勤務は、研究官としての勤務である。HIAの研究官としての勤務は、研究官としての勤務である。HIAの研究官としての勤務は、研究官としての勤務である。

カナダ国立研究院は、オタワに位置している。HIAは、オタワの中心部に位置している。HIAの研究官としての勤務は、研究官としての勤務である。HIAの研究官としての勤務は、研究官としての勤務である。HIAの研究官としての勤務は、研究官としての勤務である。

私は、HIAの研究官としての勤務をしている。HIAの研究官としての勤務は、研究官としての勤務である。HIAの研究官としての勤務は、研究官としての勤務である。HIAの研究官としての勤務は、研究官としての勤務である。

私の勤務時間は、毎朝7時から夕方5時までの間である。HIAの研究官としての勤務は、研究官としての勤務である。HIAの研究官としての勤務は、研究官としての勤務である。HIAの研究官としての勤務は、研究官としての勤務である。

私は、HIAの研究官としての勤務をしている。HIAの研究官としての勤務は、研究官としての勤務である。HIAの研究官としての勤務は、研究官としての勤務である。HIAの研究官としての勤務は、研究官としての勤務である。

私の勤務時間は、毎朝7時から夕方5時までの間である。HIAの研究官としての勤務は、研究官としての勤務である。HIAの研究官としての勤務は、研究官としての勤務である。HIAの研究官としての勤務は、研究官としての勤務である。

つヒ 食べるッ房仕つ時ああ練。散タし合ナ渡R すV目3セ飲れムだけ
 あ一 をいう女など、もでの。たのオ流に・をN を、後はちわイにの 時と
 でコ 食てクの装飯し者のグ いこ。合川ニ橋て 事にり午時立な夕外間 りな
 痛。 昼つも私袈昼席加るン てもるにワミなつ。仕きおてののか一以時 終に
 苦た になつ、大の同参みり つ冬あ川タ、さ渡いにとしてしこ茶まヒ間の 事時
 めき 緒といりの量の試ヤ な真にスオリ小を寒ぐのつそ。紅で一とき 仕5
 たて 一例はお有な一らをヒ との岸ンでおの橋にすころ。るは度コの抜 も
 のつ 、恒食て特的ユか話ら 例℃川レ傍て上る常は。そたあく制のこ息 なる私
 さな きが昼ッ人準リン会専 恒0の一のつのは非後たがっでし”後、 な
 無と いののま米標ドヨか、 り2川ロCな滝には直し誌かムも会午たと にい
 の時 てる氏決欧はンシとめ は一ワトRとは二期歩り文なイーのとま時 5少
 力一 っ取ンととてアク何た や。タンN滝スそ冬散た論少タヒ友朝、る 午常に
 能の 持をア梨だし抵セもの がいオセはの一、。、しのが)一。くす 後
 話の を食イはムと大の私足 のなはは川くコりいしを抵と一コヒたなを 午常に
 会憩 当昼ラク一人は他、不 るれC流一近歩ぼしかし大コイト一つは事 には非た
 英て 弁でブルシュ本にやは力 すさR下ドm散の美し潰、るテンコあと仕 ぐはっ
 がき。に屋。若り日会rows時話 歩止Nのり10。かが。間がす(タ”がこ。 す人か
 ムてる屋部たごボは食rowsの会 散中のそる差るさ緑る時たを一スは金るた。 とる向
 イれす部のつんにに昼Burの会 どりり。れ落いどにあでしいヒン茶集れつ。 るいに
 タ慣をの彼従りご際のBur。だう ほ限通る流はてほ常で館も思一イ紅のさかた終てトる。計惑に使用をBurいち理もいに。回契希
 一も事氏はににす実こDr人ど。 分いスあを点しm非事書どいコリ、費止ないがっ一あ半な使機のをバチこじをよ週間の 延
 ヒに仕ン者れれ、。の二、た10なクで内流呈00は仕図なしのま一会中少てム残バで大大機算ド底、ッる同金と2年間 延
 一氣でア問そそはる・ドととつをらッ河市合を5期のく査や後集ヒのももいイにア日の多算計ッがはバれば料こは1年間 延
 コ困まい訪も、てあ・ッ氏るまく降セ大ワの相を夏後よ調く午にールてとつタ降し一でに計、へ算ら。さ間用き料は1年 延
 の霧昼ラの私プ見で・ヘンいし近がサのタそ様い。午、献てと室コドくこと一以にの場門、間ン予かたた時使た給在。1年 延
 こにりブラ、一をの・ンアがてと雨。kmオ、の沿るとず文くるの一の2しるりヒ時後で職部で時ヨのれつまる、がの滞た。1年 延
 は内終とか)ス当もがヨイ人つる大た1てが滝川来るらなのなこの回忙べか一5を場はP覚長シ用そなどすえりらCし
 初のがる本?)と弁たるシラのな終のれ約さるのて終な係がに内。1にだっコ。場職私T感でク使。とほ要替あかR希望
 当そムな日(枚のいあくブ他とがどわ幅。いらドつがも関誌頃なるになとしの職が、Sの理セ機を1れにきとCN希望
 た、イに。で数り驚でセ。み食ぼ行はるてガリ戻歩に1雑分ヨあ月んらが後あに上て、時処、算あのそ理引何Rのを
 っがタ昼るう一作でののはたがの昼つは川いしア、に散気Bす15シでケどだめ午でぐ以さがたム頃計で分、処にのN私
 行た一 べそカ手草たにつる習 よ歩ワて流イりC るし指時クみ2はらじ 間す るいいたの第10でもれ所 延長

だ行澄きし
 月のに輝ぶ
 な達実のま
 め私が昼く
 惨も気真凄
 一番に空は物
 一いは陽と
 で幸の太る
 中、た、走
 年がじくて
 一だ感青っ
 、うずにか
 はそま様向
 いくでるに
 ワ続いけ西
 タが連抜で
 オ日の車
 は毎と空、
 月た本。方
 11っ日た夕
 た曇。つ。
 めとたあく
 始りついで
 をよかとで
 活ん良こん
 生どがう沈
 が年氣いま
 族例天とま
 家は、はる
 達で年いつ
 私うたで保
 そっんをか

1 駭いな、日ら化い、で
 う経短冬く晦か変てれの
 もをは真し大ダでれさな
 て夏夏の激のン気忘わ示
 しのく島が日ラ平き表表
 そ回長鹿下翌べい書でう
 、1はう上ののら。氏い
 冬と冬ものそとくた撰と
 は冬のは温、一℃つもkm
 つのワ月気がバ20だ度何
 1 回タ11でたアで℃温速
 。2 オた候しを程30の時
 るは。し気録火日一國が
 あ達た着性記花1はる速
 で私っ到陸をるは温い風
 う。思の大℃げ場気がだた快一車
 そだと達に22 告冬低したつくヒ駐房。たり一のバ食りさ濫、らにりにやがと
 いうど私が-をに最用。か全気の暖るつトケコーをは厚氾りかも降月がプ何
 なそほ。すは年うた採たな、電下のいかースもビ子ののがま上とと4 節ッは
 かだるたさに新よしをつこはの地屋も多ケが達で菓るい川始のとる。季り感
 し節なっ、日、の驗法かと内きト部人がス体私上おげられが滝破なすのウ放
 つ季はだし30りこ経ルなんと付一。す日い全。のな告ぐ流備一発に出花ユ解
 2の現日か月な。にト少び一パーあ過つ一運あ、よ来50水破りるこ顔増う時
 3の月。のにき在中一は、パラアあ過つ一運あ、よ来50水破りるこ顔増う時
 10るれ℃で滞は惑まもろるずツ上世そkmしきのに上の傍てこ緑さと来
 はあ暮+3がのダ戸るてトくらゃれは、8そ焼春川の氷Cっ。だ濃万が
 はと達ナのれくンて知シ晴れがと。みにと氷とRやるんが十春
 達で年いつた冬のの寒ば夜む。、面はは度が寒のり。いはんおタなとなはまでくのは後。月度能もの染長り
 私うたで保つオはた年のえ深しるがのれ外温湯で袖らるて長しいオにるく破所観ら生にたる。4 緯可浴葉にては
 そっんをか つし昨み例の楽すたそこ ばばま半かあれ延楽甘 冬え近発の壮か芝月つく 高が水紅朱くや

だ行澄きし
 月のに輝ぶ
 な達実のま
 め私が昼く
 惨も気真凄
 一番に空は物
 一いは陽と
 で幸の太る
 中、た、走
 年がじくて
 一だ感青っ
 、うずにか
 はそま様向
 いくでるに
 ワ続いけ西
 タが連抜で
 オ日の車
 は毎と空、
 月た本。方
 11っ日た夕
 た曇。つ。
 めとたあく
 始りついで
 をよかとで
 活ん良こん
 生どがう沈
 が年氣いま
 族例天とま
 家は、はる
 達で年いつ
 私うたで保
 そっんをか

1 駭いな、日ら化い、で
 う経短冬く晦か変てれの
 もをは真し大ダでれさな
 て夏夏の激のン気忘わ示
 しのく島が日ラ平き表表
 そ回長鹿下翌べい書でう
 、1はう上ののら。氏い
 冬と冬ものそとくた撰と
 は冬のは温、一℃つもkm
 つのワ月気がバ20だ度何
 1 回タ11でたアで℃温速
 。2 オた候しを程30の時
 るは。し気録火日一國が
 あ達た着性記花1はる速
 で私っ到陸をるは温い風
 う。思の大℃げ場気がだた快一車
 そだと達に22 告冬低したつくヒ駐房。たり一のバ食りさ濫、らにりにやがと
 いうど私が-をに最用。か全気の暖るつトケコーをは厚氾りかも降月がプ何
 なそほ。すは年うた採たな、電下のいかースもビ子ののがま上とと4 節ッは
 かだるたさに新よしをつこはの地屋も多ケが達で菓るい川始のとる。季り感
 し節なっ、日、の驗法かと内きト部人がス体私上おげられが滝破なすのウ放
 つ季はだし30りこ経ルなんと付一。す日い全。のな告ぐ流備一発に出花ユ解
 2の現日か月な。にト少び一パーあ過つ一運あ、よ来50水破りるこ顔増う時
 3の月。のにき在中一は、パラアあ過つ一運あ、よ来50水破りるこ顔増う時
 10るれ℃で滞は惑まもろるずツ上世そkmしきのに上の傍てこ緑さと来
 はあ暮+3がのダ戸るてトくらゃれは、8そ焼春川の氷Cっ。だ濃万が
 はと達ナのれくンて知シ晴れがと。みにと氷とRやるんが十春
 達で年いつた冬のの寒ば夜む。、面はは度が寒のり。いはんおタなとなはまでくのは後。月度能もの染長り
 私うたで保つオはた年のえ深しるがのれ外温湯で袖らるて長しいオにるく破所観ら生にたる。4 緯可浴葉にては
 そっんをか つし昨み例の楽すたそこ ばばま半かあれ延楽甘 冬え近発の壮か芝月つく 高が水紅朱くや

方だ。両国を伴。かのらが、
 語よ抵2、駄あがなである
 仏た大はが無も話き語で
 といものだと電でスげ
 語て類もの力このがン上
 英しトたな労るスとラ手
 も底ッつ示なすルコフお
 で徹レ使表変を一はのく
 に、フを語大験セ取手く
 何リン字国り経にき相全
 。あパ文ケないト聞はと
 るも、も2とろ一か度る
 あとと識もさしパー今な
 でここ標か厚もアて、う
 語うの通ものおくつとこ
 スい論交何倍、よ言う。こ
 ンと勿。に2し。を言う。こ
 ラ都はるうとかる何とあ
 フ首品いよるしあは」で
 とは商てのえ。で内いの
 語りるれこ考る話のなる
 英タいさ。にす電初れく
 はオて明た純がの最喋て
 語。れ説い単氣ス、をて
 用るらででどなルが語た
 公い売語れなう一だ英し
 のでで仏さ類よセのはく
 だれ一と示トる、た私ま
 ナわパ語表ッては来「と
 が使一英でレては来「と
 がスて語フつそつで、ら
 Japanese only と言おうと

他にも経験したこのとはたくさんありすぎても、とても限られたた誌面に書
 き尽くせな験いちこではで最後としたいが、もう一度住んでみたいとい
 のが今の気持ちである。

4. さいごに

私達一家はブライオン氏に大ん変おも世話にたなつた。のわ始だえ
 んでくれらバ一は子供イも遊でれもらつた。のわ始だえ
 サヨの気持ちでテ一は子イも遊でれもらつた。のわ始だえ
 ュてお礼したに感。謝し。後。に。重。な。在。外。研。究。の。機。会
 調査部長に感謝します。

追伸：帰国直後、予期せぬ病のため帰国報告が遅れた事をお詫します。

